

やまもとちょう 宮城県の山元町ってなんですか？

発掘新聞

6月18日号

平成27年度第2号

編集・発行

九州歴史資料館

電話 0942-75-9575

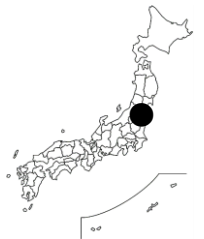
被災地の中でも遅れて いる復興に強力支援中。



横穴墓が良好に残る合戦原遺跡（かっせんはらいせき）。（記者撮影）

横穴墓は残りがよく、古墳時代後期の人々の葬送の考え方を理解するために貴重な資料で、7月には、現地説明会を開催する予定である。

つくられた鉄は、古代に多賀城に送られたと考えられ、福島県の海岸線を中心として発見されている。それが宮城県南部の山元町まで分布していることがわかった。同様の製鉄遺跡は土取事業に伴う犬塚遺跡にもみられ、製鉄炉の分布が山元町付近



福岡県
（文化財保

護課）では

今年度から
宮城県の南

部に位置する山元町に職員を派遣している。今回は派遣されている城門記者が現地の状況をレポートする。

他の市町村では昨年度に震災移転関係調査が一段落したとい

われているが、山元町ではまだまだ正念場である。

現在調査している合戦原遺跡では50基以上の横穴墓のほか、製鉄炉や木炭窯が見つかっており、現在調査は最盛期となっている。

横穴墓は残りがよく、古墳時代後期の人々の葬送の考え方を理解するために貴重な資料で、7月には、現地説明会を開催する予定である。

まで確実に広がっていたことがわかる。

今後は津波浸水地区の圃場整備に伴う試掘確認調査や新しく建設される避難道路等の調査が控えており、今年度は発掘調査の最盛期になると予想される。

なるべく発掘調査しないで済むように、開発と文化財保護の両輪のバランスをうまく取りながら、地域の歴史を明らかにしていくことが必要である。

まだまだ、山元町の復興は始まったばかりである。

今後数ヶ月に一度記事を書きますので、ご期待下さい。

（山元町支局城門記者）

伐採してある範囲が調査範囲となる
犬塚遺跡（記者撮影）



【山元町ってどんなところ？】

震災関連の報道で宮城県といえば、石巻や女川が思い浮かぶ人が多いと思う。実際私も、山元町がどこにあるのかさえ知らなかった。

山元町は宮城県の海岸線沿いにある人口1万2千人ほどの町である。県の最南端に位置し、福島県新地町と接している。津波に浸かった範囲は4割弱を占めており、今では海岸沿いに町があったことすらわからないほどになっている。

しかし、今では名産であるイチゴの生産が復活し、ホッキ貝を使ったホッキ丼も町内のレストランで食べることができる。ホッキ君にぜひ会いに来てください！！



山元町のキャラクター、ホッキ君